



第2種社会福祉事業 無料低額宿泊所オープン

青森県二か所目の開設!!

【経緯 セーフティネット】

楽晴会ではこれまで車上暮らしの方、アパートを退去させられた方、コロナで失業し社員寮を出ざるをえない方、家族関係の悪化やDV被害のため、逃げるように家を出てきた方等々、「青森しあわせネットワーク」や「保証人確保支援」のネットワークを活用して様々な支援を行ってきました。

その中で一番困ったのは「住居の確保」でしょうか。今夜住むところがない。寝るところがないということ。三沢老人ホームや晴ヶ丘養護老人ホームの空室や宿直室に泊まっていたり、安いホテルを紹介しながら就職先やアパートを探しました。

生活困窮者自立相談支援窓口を通してハローワークに相談したり、支援相談員と一緒に「食・住・職」の相談、また今後の生活や心構え等についても相談に乗ってきました。

【困窮者の宿が出来ます】

「今夜の住む処」をいつも探して奔走しておりましたが、ついに困窮者向けの宿ができることになりました。津軽地方の無料低額宿泊所に続き、青森県では二番目のオープンです。

女性専用フロアと男性専用フロアに分かれており、玄関からすべて別々になっています。とにかく住む処がない方に安心して住んでいただき、最長一年間の利用が可能です。

その間、一緒に本人の適正にあった仕事を探し、自立に向けた日常の訓練をしていきます。

同時進行として、生活困窮者、高齢者、障害者、子どもを養育する世帯等の住宅確保要配慮者に対するアパートや施設を探すなどの居住支援も行っています。

（サービス内容）

入居者が希望する場合、次のサービスを提供します。

- (1) 専用による居室の利用
- (2) 共用による炊事設備、洗面所、便所、浴室、洗濯場、食堂の利用
- (3) 入浴の機会の提供
提供時間 18時〜20時
- (4) 食事の提供
朝食提供時間 7時〜8時
※ご飯のみ
夕食提供時間 17時30分〜19時
※厚食は、必要時に提供致します。

- (5) 金銭管理
一日につきおおむね一回以上、居室訪問等による入居者の状況の確認
- (7) 入居者が利用する福祉サービス事業者、福祉事務所、医療機関その他関係機関等との連絡調整
- (8) 入居者からの相談に対する助言
- (9) その他利用者の状態に応じた支援

※(5)の金銭管理は、別に定める「金銭管理規程」に基づいて行います。



利用料

居室使用料	1か月につき28,000円 (1日あたり933円)
共益費	1か月につき 5,500円 (1日あたり183円)
光熱水費	1か月につき10,000円 (1日あたり333円) (冬期間 11月～3月までの期間は共有部分の暖房費として別途料金 5,000円がかかります)
食費	1食につき、朝食200円(ご飯のみ)、夕食550円 ※昼食は、必要時に提供いたします。
日用品費	1か月につき 2,000円 (1日あたり67円)
基本サービス費	1か月につき14,000円 (1日あたり466円)
	1か月に満たない期間の利用料については、1か月を30日として 日割計算した額とします。



これまでの経験を活かし、入居者への支援が出来るように頑張りますので宜しくお願い致します。

また今後、生活困窮者の「住まい」として、サテライト住宅も開設して支援して参ります。

この度、六月開設予定であります無料低額宿泊所「暮らしサポートセンター・三沢」で勤務させて頂くことになりました。天間と申します。



暮らしサポート
センター・三沢
施設長 天間 章二

居住支援法人 県内四法人目 指定される



確保要配慮者に対し、賃貸住宅への入居に係る住宅情報の提供・相談、見守りなどの生活支援等を実施する法人として、令和四年一月三十一日付で青森県より指定を受け、県内では四番目となります。

居住支援法人とは、新しい住宅セーフティネット法に基づき、住宅確保要配慮者、当法人では低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子供養育世帯、外国人、児童虐待を受けた者、DV被害者、更生保護対象者、生活困窮者自立支援法に基づく援助を受けている者の民間賃貸住宅や無料低額宿泊所等への円滑な入居の促進を図るため、住宅

青森県報

青森県告示第五十九号

住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律(平成十九年法律第百十二号)第四十条の規定により、次のとおり住宅確保要配慮者居住支援法人を指定したので、同法第四十一条第一項の規定により公示する。

令和四年二月九日

青森県知事 三村 申吾

住宅確保要配慮者居住支援法人	名 称	住 所
社会福祉法人楽晴会	三沢市大町二丁目六の二七	
支援業務を行なう所在地	三沢市大町二丁目六の二七	令和四年一月三十一日付

第四百二十一号
令和四年
二月九日
(水曜日)

令和4年2月9日付
青森県報より抜粋

居住支援法人 事業計画

【目的】

住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅（住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅等）への円滑な入居を促進するための取組等を実施致します。

【対象者】

当会における支援業務の対象とする住宅確保要配慮者は、低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子育て世代、外国人、虐待を受けたもの、被害者、更生保護対象者、その他、生活困窮者自立支援法に基づき援助を受けている者と致します。

【支援業務】

- (1) 入居相談・支援・・・三沢市、六戸町、にお住いの入居相談や賃貸契約などの支援を行います。
- (2) 居住確保・支援・・・三沢市内に不動産業者と連携を組んだ住居の物件があり、居住確保のための支援を行います。
- (3) 保証人・代行の紹介・・・必要に応じ保証人の紹介や代行の支援を行います。
- (4) 緊急連絡先引受・・・緊急時対応が可能です。

(5) 家賃債務保証・・・家賃債務保証会社をご紹介します。

(6) 生活相談・支援・・・日常生活や医療・介護サービス等のコーディネートや

弁護士への相談業務を行います。

(7) 見守り支援（電話）・・・電話による安否確認を行います。

(8) 金銭・財産管理支援・・・要望に応じ契約して支援します。

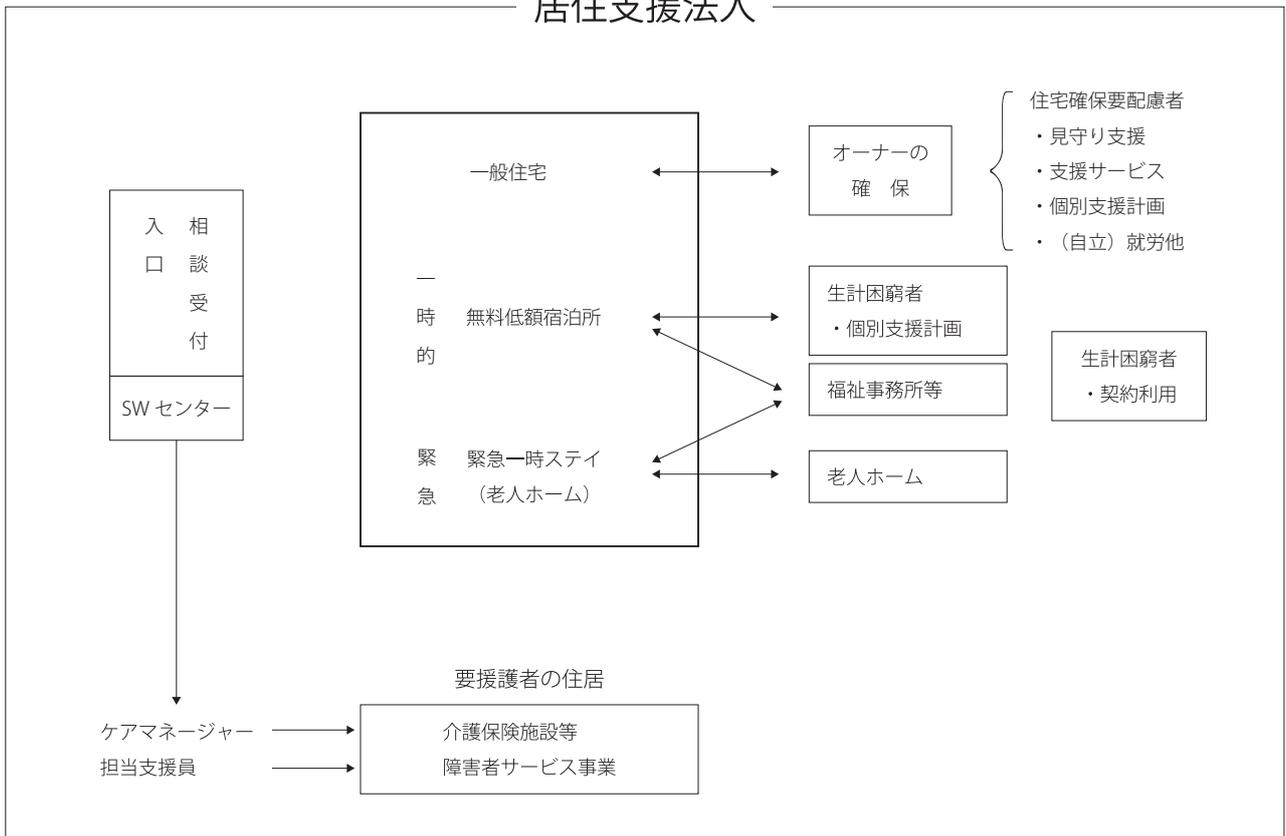
(9) 見守り支援（訪問）・・・要望に応じ24時間対応のソフトを使用します。

(10) 家財・遺品整理支援・・・必要に応じ対応致します。

(11) 死後事務・・・弁護士への相談、行政への手続き・関係者への連絡など対応致します。又当会にはお墓があり埋葬・納骨等対応致します。



居住支援法人



三沢市基幹 相談支援センター開設!!

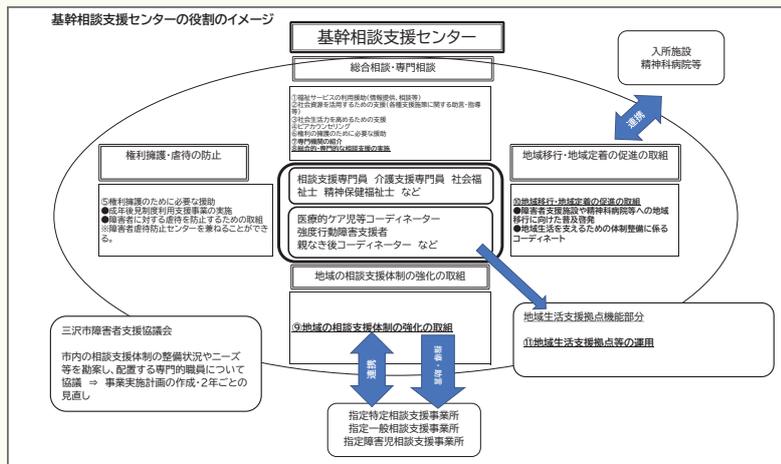
療育・障害者相談センターボイスは、三沢市と協議を重ね、団体の中核的な役割を担う機関として、令和三年四月から青森県初の障害者相談支援施設「三沢市基幹相談支援センター」事業委託を受け、設置致しました。

経験のある社会福祉士、精神保健福祉士等の専門職員を配置し、身体障害、知的障害、精神障害、障害児、難病、高齢障害者、医療的ケアを要する方、生活困窮者、生活保護受給者等の相談・支援をワンストップで受け止め、各ニーズに対してアセスメント方法や相談援助、社会資源を開発し、障害種別にこだわらず運営を行うことが主な役割となっております。

三沢市の課題として、医療的ケアを必要とする方や強度行動障害のある方、触法障害者等の生活に困難を抱えている方、重度障害から就労の促進ができない方、社会資源の偏在等、八〇五〇問題や高齢障害者や親亡き後問題、引きこもりなどの複雑化した課題があります。そのような地域課題を自立支援協議会で議論し、解決すべき地域課題を明確化したうえで、三沢市障害福祉計画に反映させることが重要であると

考えております。

三沢市基幹相談支援センターとしては、相談支援や福祉サービスにつながる人々の居場所づくりなどを各機関と協力して、実施してまいります。立ち上げから一年、コロナの影響もあり、思うような活動が行えていない現状でもありますが、支援が必要な方々の日常の生活を支え、声なき声を、聞き逃さないよう事業運営を行っていききたいと考えております。



医療的ケア児 総合支援事業を展開!!

令和四年四月から基幹相談支援センター業務の一環として、新規事業「医療的ケア児コーディネート事業」をスタートすることとなりました。全国的にも数少ない取り組みです。在宅生活で日常的に医療的ケアが必要な児童「医療的ケア児」とご家族を総合的に支援することが目的です。

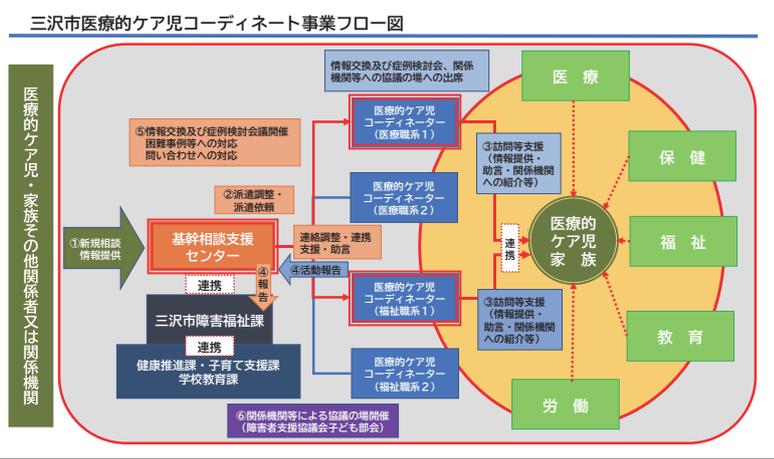
医療的ケア児とは、人工呼吸器の管理、気管切開に伴う喀痰吸引、鼻腔、胃ろうからの経管栄養、自己導尿など、日常的に医療のサポートが必要な方への支援です。

今年度三沢市では、市内在住の医療的ケア児六名を事業対象者としております。新規事業では市内で、医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者がいる相談支援事業所二事業所、訪問看護ステーション三事業所が市との委託契約を結び支援を行います。

コーディネーターは、医療的ケア児やそのご家族のニーズを把握し入院時から在宅生活に入るまでのカンファレンスへの参加等、在宅生活開始に向けた支援をすることも重要になると思います。

また、市内小中学校で医療行為が必要で、保護者が付き添う必要がある児童に対して、契約を結んだ訪問看護師を派遣、医療的ケアを提供することやご家族に対しての「レスパイト業務」も実施することとなっております。

医療的ケア児の支援には、医療・福祉・公的機関、学校などの他職連携が不可欠です。児童とご家族が困った時に相談でき、安心して地域生活が送れるよう支援することが重要であると考えています。





令和四年四月六日（金）一六時より、青森会場はつたや会館、東京会場は世田谷希望丘ホームにおいて、今年度の入社式が執り行われました。

オンラインでダブル開催!! 令和四年度 入社式



【青森会場】
青森県内拠点では、四名の新入職員を迎えるの入社式となりました。
当日は青森と東京の会場をオンラインで結び、おごそかに、新鮮な心持で挙行了りました。



【東京会場】
令和四年四月六日、晴れ渡る青空のもと世田谷拠点では日本人二名、ベトナム人四名の新入職員を迎え入れることが出来ました。最初は彼女たちもやや緊張した様子でしたが、辞令を受け取る姿とても凛々しく、楽晴会への熱い想いが伺えました。

今回はコロナウイルスの影響により残念ながらオンラインでの入社式になってしまいました。

が、式を終えた後は青森の方々が画面越しに手を振ってくださり、離れていても心が繋がっていることを感じられました。緊張や不安もあるかと思いますが、これまで学んだ知識と経験を現場で活かせるよう職員一同全力で応援して参りたいと思います。

(照井)



東京拠点入社式 合同開催!!

ベトナム人留学生来日!

世田谷希望丘ホームの新しい仲間となるVO CONG DUC (ボーコン ドウック)さんが来日しました。新型コロナウイルスの影響により二年遅れての来日です。世田谷希望丘ホームで働きながら日本語学校や福祉専門学校に通い、卒業後は楽晴会の正職員となる予定です。留学生として来日し、今年楽晴会の正職員となったベトナム人の先輩には、介護福祉士試験に合格した方もいます。ドウックさんにも大きな花が咲くことを願い、私達と一緒に頑張りましょう!

(川尻)



KAI GOPPRIDE

「KAI GOPPRIDE」は厚生労働省が主導する「介護施設等における生産性向上に資するパイロット事業」の一つである、「介護魅力発信」プロジェクトです。今回は、世田谷区内の介護職員を世界的クリエイターであるマンジョット・ベディ氏が撮影し、二〇二二年五月三日にイベントが開催されます。世田谷希望丘ホームの介護職員であるイエンさんとハーさんが写真撮影に参加しました。次号で詳しくご紹介いたします。お楽しみに!

(館林)



地域防災訓練参加!

二〇二二年三月二十六日 葎根会主催防災訓練に参加をさせて頂きました。桜が満開の中、葎根会の皆様と東京都消防庁の方々が、地域の防災に深く関わり力を注がれておられる訓練でありました。福祉避難所でもある施設として今後の地域防災の為、役割を持ち、地域貢献への思いを新たに致しました。今回はコロナの対策もありご入居者様の参加は見送りましたが、機会を見て共に参加出来ることを楽しみにしています。

(丸山)



東京拠点便り

消防表彰

【松原コラボケアセンター】

令和四年二月四日午前八時頃に、松原町内で発生した車両火災に際し、松原コラボケアセンターの職員が災害の拡大防止に協力したとして、三沢市消防本部より表彰状と災害に備える防災バックをいただきました。

火災発生時の対応については消防訓練などで確認していますが、いざ実際の火災を目の前にして冷静に対処するのは中々難しいことだと思います。今回の松原コラボケアセンターの職員の行動を誇りに思うと共に、今後も地域活動への貢献と防災意識の向上に努めて参ります。



楽晴会防災フォーラム2022

「教訓を未来の防災へ 命を守る活動」

法人災害対策室 主幹 種市 博幸

令和四年二月十八日午後二時より、楽晴会防災フォーラムを開催致しました。

平成二十三年三月十一日、三陸沖を震源として発生した東日本大震災から十一年が経過し、震災の教訓を元に防災意識の向上と災害に強い地域福祉をめざすことが喫緊の課題となっております。

その課題に対し、この度のフォーラムは上十三地区老人施設協会（会長野田博之氏）の後援と会員の皆様方のご協力を頂き開催されました。

当日は上十三地区老人施設協会野田会長をお招きし開会のご挨拶を頂き、これまでの自然災害でお亡くなりになられた方々に対して黙祷をささげました。



◆ 第一部 ◆
テーマ「これまでの災害を振り返る」

三沢市防災課前課長 種市 俊之氏

三沢市内においての災害状況及び被害状況がスライドで報告され、災害に対する行政としての防災対策についてご報告を頂きました。



◆ 第二部 ◆
テーマ「これまでの災害支援と災害に強い福祉を目指して」

① 東日本大震災での災害支援活動
晴ヶ丘老人ホーム園長補佐 中平智弘

青森県老人福祉施設協会の被災地派遣を振り返り、支援はほぼ一日中、食事介助や入浴介助等を行う。その活動の中で感じた相互扶助と社会福祉法人としての使命を感じ取り組んだ実践活動報告。（支援期間：2022.5.15～5.23）

② 西日本豪雨D-CATでの活動
ホームヘルパーステーション青空 所長 月館健司

岡山県倉敷市真備町岡田小学校での要配慮者の支援、福祉ニーズの把握、避難所での支援経過データ化、避難所での相談コーナーの開設等について調査活動報告。（活動期間2018.8.12～8.17）

③ 法人内防災に関するアンケート調査
実施報告

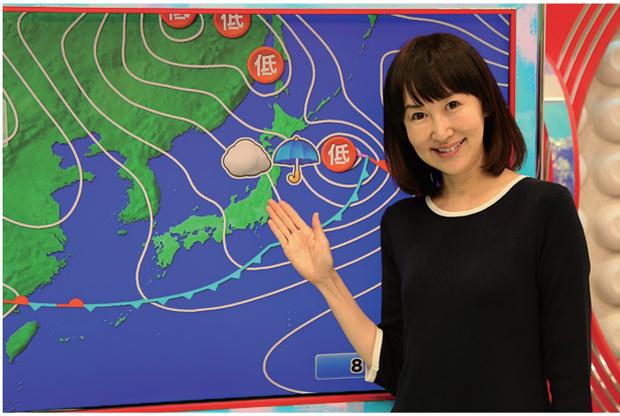
この調査では災害に関する「ご家庭等においてのアンケート」・「職場においてのアンケート」で、計二〇項目について調査しました。その調査内容より二つご紹介いたします。

◆ 第三部 ◆
テーマ「変化する気候と気象災害」

青森朝日放送報道部 気象予報士 防災士 石塚 絵里子氏

「ご家庭等においてのアンケート」
① あなたの身近な避難所はわかりますか
「理解している」 82%、
「理解していない」 18%
② 地域の自主防災活動に参加していますか
「参加している」 8%、
「参加していない」 92%

約二〇〇年前の地球と今現在の地球を比較し、温室効果ガス等の影響による二十一世紀末の気温の予想。また、これまでの県内各地で発生した自然災害を報道した映像を交え、あらためて自然災害の恐ろしさを伝えて頂きました。



令和3年度ボランティア受入状況
2021年12月～2022年3月

拠点名	事業所名	個人	団体	計
大町	ソーシャルワークセンター	17	0	17
晴ヶ丘	晴ヶ丘老人ホーム	0	5	5
	はるが丘デイサービスセンター	5	0	5
三沢	三沢老人ホーム	36	23	59
緑ヶ丘児童	緑ヶ丘児童デイサービスセンター	12	0	12
計		70	28	98

松園拠点
十二月八日 Cafe 42 出張カフェ

【三沢老人ホーム】
十二月二十一日 お客様忘年会
一月二十一日 お客様新年会
二月三日 節分
三月三日 ひな祭り
【三沢デイサービスセンター】
十二月二十二日 クリスマス会
一月十五日 もちつき
二月三日 豆まき
三月九日 ひな祭り料理クラブ

各拠点日報
〔令和三年十二月～令和四年三月〕

障害者就労トライアルセンターボイス
三月一日～二日
七戸養護学校 高等部三年生一名

福祉教育
〔令和三年十二月～令和四年三月〕
〔実習生・小中学校受入れ・講演等〕

【松園ケアラウンジ・スカイ】
十二月二十日 三沢基地チャペル

クリスマスプレゼント交流

三月十日 ミニ運動会

【松園デイサービス・スカイ】

十二月二十三日～二十四日 忘年会

一月十四日～十五日 小正月(蘭玉作り)

【松園グループホーム・スカイ】

一月十四日 小正月(蘭玉作り)

二月二日 節分

【ぬくもり・コラボ合同】

十二月二十二日 忘年会

二月十八日 スイーツバイキング

【栄町拠点】

【栄町コラボケアセンター】

十二月十六日 もちつき会

十二月二十四日 クリスマス会

一月三日 書初め

一月二十四日 新年会・職員親睦会

二月三日 節分行事

【松原拠点】

【松原コラボケアセンター】

一月十四日 小正月行事

二月五日 節分行事

三月三日 ひな祭り行事

【松原ぬくもりの家】

一月十五日 小正月行事

二月三日 節分行事

三月三日 ひな祭り行事

【大津拠点】

十二月二十二日 大津クリスマス会

一月十九日 初釜

三月十六日 ミニ運動会

【堀口児童拠点】

十二月十一日 年賀状製作

十二月十八日 不審者想定避難訓練

十二月二十四日 クリスマス会

十二月二十五日 誕生会

一月五日 書初め

一月十一日～十三日 グルメツア

一月十五日 地震想定避難訓練

一月二十二日 誕生会

一月二十九日 焼きそばづくり

二月五日 恵方巻づくり

二月二十六日 火災想定避難訓練

三月五日 ちらし寿司づくり

三月十九日 誕生会

三月二十六日 保護者茶話会

【車返団地デイサービスセンター】

十二月二十日～二十四日

クリスマス会～ビンゴゲーム

三月二十九日～三月三十一日

桜花見レク(四月一日まで実施)

【車返団地コラボケアセンター】

十二月二十三日 クリスマス会

二月三日 節分

他毎月、お楽しみ食事を実施

【御奇贈御礼】
(令和三年十二月～令和四年三月)

- ・光昌寺様 お菓子、ジュース、お団子
- ・高橋鉄蔵様 大根、長芋、ごぼう
- ・藤田優子様 ひな人形
- ・對馬恵美子様 ポータブルトイレ一式
- ・三沢市東部地区民生委員 児童委員長様

タオル一式

・新田一夫様 トレーニング機器

・世田谷区高齢福祉課様 マスク

・東京都福祉保健局様

・不織布防災ガウン、フェイスシールド、
プラスチック手袋、他

・東京都社会福祉協議会様 ゴーグル

・世田谷区高齢福祉部様

・久光製菓様 クールジェルシート

・厚生労働省新型コロナ対策本部様

・不織布マスク、ガウン

・使い捨て手袋、不織布マスク

・不織布マスク、ガウン

全国老人福祉施設協議会様から配布され
ました「感染症対策セット」を、上十三地
区老人福祉施設協会の野田会長より届けて
頂きました。

いまだ収束が見えな
いコロナ感染症に対し、
引き続き防止意識を高
めて参ります。(種市)



(令和三年十二月～令和四年三月)

【子ども宅食への御奇贈品】

- ・東管工業株式会社様 野菜、米
- ・日本原燃株式会社様 非常食セット
- ・有限会社番澤石材店様
- ・森野千亜紀様 野菜、ジュース、米、食品
- ・谷口徳子様 衣類、日用品
- ・中野渡綾子様 日用品、食品
- ・向山友美様 お菓子、食品
- ・みちのくコカ・コーラボトリング株式会社様 食品
- ・織笠祥子様 スポーツドリンク、炭酸飲料他
- ・竹の子保育園様 衣類、食品
- ・第一生命保険株式会社様 食品、日用品

・ファミリーマート株式会社様 食品

・株式会社KAWACHORI様 米

・東北ファーム様 卵

・有限会社川守田パン様 菓子パン

・生活協同組合コープあおもり様、および
青森県民生活協同組合様 食品、日用品他

・蒔田 裕仁様 ジャージ、本

・青森県社会福祉協議会様 食品他

・堀憲一様 もち米

・小武家様 食品

・階上キユーピー株式会社様

・冷凍食品、パスタソース他

・グループホームクローバー様 マスク

・浜三沢保育園様 オムツ

・ローソン様 炭酸飲料

・住友化学株式会社様 非常食、洗濯洗剤

・小笠原浩子様 文房具

・イオンモール下田様 食品

・林正樹様 パスタ、パスタソース

・みちのく銀行三沢支店様 食品、日用品他

・安藤様 野菜、ティッシュケース

・田中啓子様 食品

・田面木るり子様 米

・楽晴会職員一同 食品、日用品他

・楽晴会 お菓子、文房具、食パン、卵

ありがとうございました。

【お詫び】

前号掲載のセーフティーネットあおもり様の所在地及び連絡先に誤りがありました。正しくは

〒030-0861
青森市長島二丁目19-11
TEL: 017-754-2711

です。お詫びして訂正致します。